

令和元年度事業計画

令和元年度も、安定した会運営を継続するためにも、引き続き会員拡大が重要課題でありますので、役員や会員の皆様のご協力をいただきながら、新規事業所の加入促進や既存会員事業所においての従業員全員入会を推進してまいります。

共済会事業の展開につきましては、事業の柱であります「慶弔共済給付事業」「福利厚生事業」「健康増進事業」などを中心に進めてまいります。

また、静岡空港の利用促進支援としての「宿泊費補助への上乗せ」や人間ドック受診料補助事業、インフルエンザ予防接種補助事業についても引き続き実施してまいります。

本年度も、中小企業の事業主と従業員の福利厚生の向上をめざして、会員ニーズの把握など会員の満足度の向上に努め、魅力ある事業を提供できるよう取り組んでまいります。

1. 会員拡大について

- ・会員数3,000人を目標とします。
- ・新規加入事業所の拡大推進を図るとともに、既会員事業所従業員全員入会を進めます。
- ・共済会事業をもっと知ってもらうためのPRに努めます。
- ・既会員事業所に対し従業員全員入会を図るため、「事業所従業員全員入会のおすすめ」の実施
〈期間〉5月～7月入会（3/26～6/25の申請）の3ヶ月間
就業後1年以上未加入の従業員等入会時に、会員事業所に対して入会1名につき1,000円の商品券を贈呈します。また、新しく、この期間外に未加入従業員を加入させた事業所に対し、500円の商品券を贈呈することとします。
- ・新規加入事業所の拡大を図るため、「仲間をふやそう！キャンペーン」の実施
〈期間〉7月～9月入会（5/26～8/25の申請）の3ヶ月間
紹介された事業所が入会した場合、キャンペーン期間中は、加入会員1名につき1,000円の商品券（期間外は500円）を紹介者に贈呈します。
*会報で全会員にお知らせし協力をお願いしていきます。会員を通じて知り合いの事業所に、共済会の会員特典などをお話していただき、事務局に紹介してもらいます。

2. 福利厚生事業について

本年度も、助成契約施設・割引施設の拡充、チケットの割引あっせん、その他各種企画事業等、会員のニーズに応えた対応と予算のバランスを取りながら行ってまいります。

また、各種補助金については、「静岡空港を利用した場合の宿泊補助の上乗せ」の実施や、人間ドックについては、脳・心臓・すい臓・肺ドックなども引き続き対象とし、インフルエンザ予防接種補助についても、引き続き登録家族を含め4名まで補助対象といたします。

(1) 助成契約施設等

- ・「助成契約施設共通利用券」を、会員一人あたり20枚配布します。
- ・東京ディズニーリゾートの「助成利用券」を発行します。
- ・「企画総務委員会」で、会員のニーズに沿った施設等を検討し、予算とのバランスを取りながら、新規助成契約施設の開拓、新規事業の検討なども行ってまいります。
- ・会員からの要望を出来るだけ取り入れ、事業に反映させてまいります。

(2) 企画事業

- ・事業の実施にあたっては、前年度の状況をふまえ、当会単独事業のほか近隣共済会との合同企画など、より効率よく実施できるよう努めてまいります。
- ・「おすすめツアー」など日程等を自由に選び、参加していただけるよう取組んでいきます。
- ・会員、登録家族の皆様が大勢参加できるよう、年代に合った企画を立て、予算全体のバランスを取りながら実施してまいります。

令和元年度 共済会企画事業計画（案）

*日程や募集開始、参加費等の詳細については、「会報」「ニュース」でお知らせしていきます。

*チケット斡旋やおすすめツアー、その他追加事業を予算執行状況に応じて計画していきます。

	当共済会単独企画事業	定員	県下・近隣共済団体合同企画事業	当会定員
5月	◆18・19日(土日)立山黒部アルペンルート「雪の大谷ウォーク」	25名		
7月	◆21日(日)テープ(細幅織物)で作るオシャレバック	20名		
7月	◆28日(日)横須賀軍港クルーズと三崎まぐろづくし	40名		
8月			◆上旬頃 「中部地区合同事業」映画鑑賞会(藤枝シネ・プレーゴ)	30名
9月	◆29日(日)行こう東京フリータイム	40名	◆11日(水)静岡県勤労者福祉共済団体合同ゴルフ大会(リバーフジカントリークラブ)	8名
10月	◆19日(土)行こう京都フリータイム	40名		
11月	◆御殿場アウトレットと時之栖イルミネーション	40名	◆中旬 「中西部地区合同事業」新幹線で行く東京ディズニーリゾート	50名
12月	◆ディズニーリゾート フリー&パークファンパーティー	50名		
12月	◆下旬 セミナー「お正月寄せ植え」	30名		
1月	◆15日(日)初詣「子年関連又は大河ドラマ明智光秀関連」	40名		
2月			◆中旬 「中部地区合同事業」ボウリング大会(藤枝グランドボウル)	20名

(3) 宿泊費補助事業

- ・会員を対象として、年に1回3,000円の補助を行います。
- ・静岡空港の利用促進支援として「宿泊費補助の上乗せ(1,000円)」を行います。

(4) 人間ドック受診料補助事業

- ・会員の健康管理は事業所にとっても、会員、家族にとっても大切なことです。
- ・35歳以上の会員を対象に、年1回自己負担額の内6,000円を限度に補助します。
- ・脳ドック、心臓ドック、すい臓ドック、肺ドックについても補助します。

(5) インフルエンザ予防接種補助事業

- ・会員の健康管理は事業所にとっても、会員、家族にとっても大切なことです。
 - ・一会員（高校生以上の登録家族を含め）4名を限度に対象とします。
 - ・一人あたり1,000円を補助します。
- （ただし、ワクチン代等の自己負担額が1,000円以上の場合）

(6) 文化・教養事業・チケット等の斡旋について

- ・会員、家族が割安な料金で演劇やコンサートなどの鑑賞、また、スポーツ観戦等家族で楽しむことが出来るよう助成をしております。
- ・「Jリーグチケット」の斡旋については、「ジュビロ磐田」、「清水エスパルス」、「藤枝MYFC」のホームゲームを中心に実施しております。
- ・「東京ディズニーリゾート」の助成利用券については、共済会として団体契約しておりますので、会員に1,000円、登録家族には1人500円の助成をしております。
- ・観劇や映画鑑賞、食事優待チケット、クリスマスケーキなども助成しております。
- ・趣味の教室（寄せ植え教室等）は、親子で参加できるようなものも検討して、実施しております。

3. 慶弔共済給付事業について

- ・当共済会事業の大きな柱の1つで、給付内容は本年度も昨年度と同様に実施しております。
 - ・この事業は、毎月25日現在の会員数に対して1人198円の掛金で実施します。
 - ・給付事由の発生から3年をこえると、給付金の請求はできませんのでご注意ください。
- なお、事由発生時及び給付金請求時に、会員資格を有することが条件となります。

4. 専門委員会について

- ・当会に、次のとおり「専門委員会」を設置し、事業の見直し、取り巻く環境変化への対応会員拡大の具体策等、それぞれの課題を協議、検討しております。
- ・「企画総務委員会」
 - * 企画事業計画の検討
 - * 助成事業の検討と見直し
 - * 新規事業の企画等
 - * 共済会のあり方・方向性について検討
- ・「会員拡大委員会」
 - * 会員拡大に向けての検討と方針の策定、取組み等

5. 融資斡旋と保証料補助事業について

- ・静岡県労働金庫と提携して、生活資金（教育資金・オートローン等）斡旋と融資を受けた場合保証料の一部を「2分の1以内・7千円を限度」に補助します。
- ・「ろうきん」の融資制度を会報等で案内していきます。

6. 退職金掛金補助事業について

- ・退職金制度が整備されていない事業所が、新たに退職金制度を導入した場合、その事業所に対し掛金の一部を補助するもので、導入から1年間について掛金の一部を補助します。
- ・中小企業退職金共済制度の普及案内記事の会報掲載により、当共済会を取扱い窓口としての新規事業所の加入促進に努めます。

7. 広報活動について

- ・「会報」は、年4回（4月・7月・10月・1月の各月1日付）発行してまいります。
- ・共済会ホームページの掲載内容を逐次更新し、会員の皆様への迅速な情報提供に努めてまいります。
- ・「共済会ニュース」は、毎月1回を基本に、必要に応じて随時発行してまいります。
- ・「市町の広報」や「商工会のお知らせ」などの協力を得て、広報活動を実施します。
- ・「入会のおすすめ」パンフレットでの共済会の紹介を推進してまいります。
- ・会員募集ポスターの掲示を各事業所に協力依頼していきます。

8. 全国・東海ブロック・県内共済団体との連携について

- ・全国には勤労者福祉共済団体がおおよそ200団体あり、東海4県には25団体、そのうち静岡県内では16団体が運営をしています。県内団体は、これまでも各種共同企画事業を実施してきましたが、引き続き、スケールメリットを生かした「会員等特典施設」の拡充などに取組んでまいります。

9. 共済会のあり方・方向性の検討について

- ・運営費に対する市・町補助金は、行政改革の方針により増額を望みにくい状況です。このため効率的な運営ができる組織づくりをめざして、中部地区の共済会の在り方について引き続き検討してまいります。